

総務企画常任委員会 意見交換会報告

去る11月5日開催の、白山市消防団連合会との意見交換会について、その概要を報告します。

当日は白山市消防団連合会の竹西会長をはじめ、7名の役員の皆様が出席され、「消防団を取り巻く現状と課題について」というテーマで、特に3つの項目について意見交換を行いました。

白山市の消防団は、市域が広大なため、鶴来から白峰までに至る地域の範囲を南消防団とし11分団、松任・美川地域を北消防団とし12分団の2つの消防団に分けて活動を行っており、火災の消火活動はもとより、防災活動や行方不明者の搜索など、市民の生命財産を守るため、昼夜問わず活動されています。団員数は、条例上、南消防団312人、北消防団305人の合計617人、現在の実員数は、南消防団が268人、北消防団が295人の合計563人で、定数に対する充足率は91.25%と伺いました。

市消防団の抱える主な課題として、団員のなり手不足、サラリーマン化、高齢化といった恒常的な問題を抱えており、この問題は本市だけではなく、全国の消防団でも共有していると伺っております。

それでは、今回の意見交換会で出された主な意見を述べさせていただきます。

1 点目、消防団員の確保についてであります。

昔は各町内会から頼まれた、また青年団等のつながりから消防団員に勧誘されたということが多くありましたが、現在は、サラリーマン化や過疎化、また町内会でも対応しきれないなど、団員の確保に苦勞されています。

こうした状況の中でも、団員の定数は、管轄が広いこと、火災だけではなく、捜索活動などに多くの人員が必要なことから、現状の定数が必要であるとのことでしたが、今後、人口減少による分団組成の見直し等も必要になるとの意見も出されました。

また、団員のサラリーマン化に関しては、日中の火災や捜索出動について、団員の勤務する会社が柔軟な

対応を図れるよう、行政側からの強い協力要請をお願いしたいという意見や、平日昼間の出動に対応した機能別消防団創設等、市役所やJA等の職場を巻き込んだ協力が欲しいという意見もありました。

2点目、消防水利についてであります。

本市の消防水利は、消火栓や防火水槽のほか、七ヶ用水や流雪溝といった自然水利など、多岐にわたっておりますが、特に消火栓については複数箇所に接続した場合、減圧や水量不足により消火活動に支障を来す恐れがあることから、できるだけ自然水利を利用する仕組みを考えていくことが大事だとの意見が出されました。

現在、用水等からの取水に供する「すのこシート」が、松任地域の8分団に対し試験的に配備されておりますが、市内全分団に配備し、いざという時に、どこかの現場へ行っても自然水利が利用できる環境を整備してほしいという意見が出されました。

3点目、白山野々市川北消防訓練大会についてであ

ります。

毎年6月下旬に、松任グリーンパーク多目的グラウンドで開催されますが、土のグラウンドであり、時節柄、会場のコンディションが天候に左右されることが多く、会場の見直しが毎年課題となっていますが、何の進展も見られません。特に今年の大会では、操法で走るどころか、田んぼの中で転ばないように競技するような状態で、会場の見直しを求める声が多く消防団員から寄せられています。また、県大会では水出し操法が行われていること、白川郷の火災では、直前に実施した水出しによる火災防御訓練の効果もあり、見事、延焼をくい止めています。こうしたことから、アスファルト敷きの会場で、水出しでのポンプ車操法訓練に変更できないのか意見交換を行いました。

会長からは分団によってはアスファルト敷きの練習会場が確保できない、また、仮に水出しでのポンプ車操法となれば時間がかかり、小隊訓練や分列行進を含めると、大会日数が2日間かかるといった問題もあり、悩んでいるとの意見がありました。

一方で役員から、アスファルト敷きの会場での操法

であれば天候にあまり左右されず、練習の成果が発揮できる、また、これまではポンプ車のコックなどに細かい砂が入り、機材が傷むのではと心配していたが、そうしたこともなくなるといった意見が出されました。

こうしたことを踏まえ、大会内容を一遍に変えることは難しいが、野々市市、川北町の消防団とも相談しながら検討する場を設け、まず、アスファルト敷きの会場での開催に向け、市消防団連合会も議会も協力しながら、一歩ずつ進めていくことになりました。執行部においても、この意見集約を受け止め、早急に検討を進めていただきたいと思います。

以上、主な意見を述べましたが、消防団は市民の安全・安心な生活にとって、なくてはならない存在です。今回の意見等を踏まえ、いざまさかの有事のときに即応できる体制づくりを、議会や行政とともにさらに築き上げていく必要があると思いを共有化した次第であります。

以上で、報告を終わります。